

ピーマン・ジャンボピーマンの育て方

・ししとう・トウガラシ

カネコ種苗株式会社
花き園芸部

【1】土作り

植え付け約10~14日前に苦土石灰とカルシウム入り肥料と堆肥を入れ、よく耕します。ピーマンは浅く根を張る性質がありますので、堆肥を十分に施し、保水力のある肥沃な土づくりを行います。また、ジャガイモ、トマト、ナスなどのナス科の野菜との連作は避けてください。

【2】植え付け

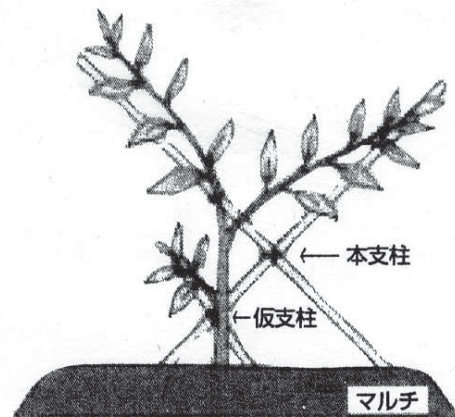
植え付けの時期は、霜の降る恐れがなく、外気温18℃以上の4月中旬以降が適期です。苗は大きくなるので、株間を60cm以上とり植え付けます(鉢植えの場合は、8~10号鉢の中心に1本植え)。地温保持や雑草防止のため、マルチやワラを敷くと効果的です。

【3】支柱立て

植え付け後、直ちに仮支柱を立てます。40cm以上伸びたら、長さ70~80cmの本支柱を斜めに2本立て誘引します。

【4】肥料

野菜専用肥料または化成肥料を一握り、株の周りにまきます。7~8日たって根づいたら、野菜専用液肥を週1回与えるか、化成肥料や油粕の固形肥料を月に1~2回根元に置きます。次々と実がついてきたら、7~10日に1回追肥します。尻腐れの要因として、カルシウム不足があります。粒状のカルシウム入り肥料を追肥として与えてください。



【5】病害虫防除

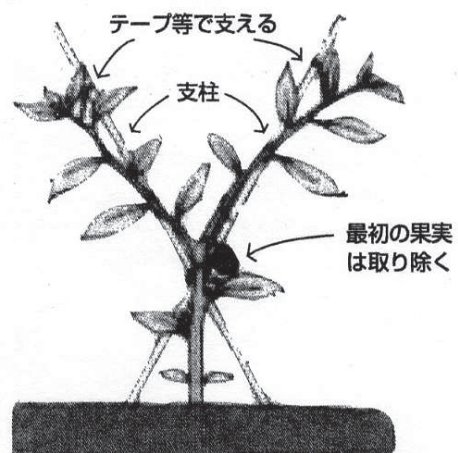
病害虫が発生した場合には、お近くの販売店等にお問い合わせのうえ、適切な農薬を使用してください。そのまま使えるタイプのハンドスプレー式薬剤や、野菜専用薬剤も市販されています。

【6】水やり

特に梅雨あけ後は十分に水やりしてください。根元からうね間にワラを敷くと乾きを防ぐのに役立ちます。

【7】整枝

仕立て方は、第1花のつくところで分かれる強い枝2本(3~4本でも可)を伸ばし、他の枝は取り除きます。また、果実が込み合いぶつかるようでしたら、摘果します。チェリーピーマン、スティックピーマン、スイートベルは2本仕立てや3本仕立ての必要はなく、そのまま伸ばしますが、込み過ぎないように側枝を適宜整理します。また、枝が細く折れやすいので、支柱の誘引が必要です。



【8】収穫

ジャンボカラーピーマンは、一般のピーマンより果実は大きく、完熟させてから収穫するので、開花から収穫まで従来のグリーンピーマンに比べ2週間程多い日数が必要です。